

「太陽のコロナ」

新型コロナウイルスによって私たちの生活は一変しました。これまで当たり前であった生活が当たり前ではなくなり、現在私たちは制限のかかった生活を余儀なくさせられています。

みなさんは宇宙にあるコロナを知っていますか。ウイルスではなく、太陽のコロナです。太陽のコロナとは、太陽の外層大気の最も外側にある、100万度を超える希薄なガスの層のことです。この太陽のコロナは、皆既日食の際に観測することができます。また、このコロナには、「真赤に燃える太陽、そのまわりの淡い真珠色の光。太陽の冠。」という意味が込められており、神秘的で美しくプラスのイメージがあるのです。

新型コロナウイルスは、私たちの生活から多くのものを奪っています。そんなコロナにプラスのイメージをもつことは難しいでしょう。しかし、このコロナの影響によって、普段の生活の有り難さやコミュニケーションの大切さなど、気付かされたこともあったのではないのでしょうか。私は、こんな状況だからこそ、気付くことのできたものを大切にするとともに、様々なことをプラスにとらえていきたいと思っています。

太陽のコロナが日本で観測できる次の皆既日食の日は、2030年6月1日だそうです。つまり9年後です。9年後、「みんなが新型コロナウイルスを乗り越えられた」となつかしく思いながら、太陽のコロナが観測できたらいいですね。



太陽のコロナ

生徒指導主事 服部 篤吏

<9月の行事予定>

- 1日(火) 実力テスト、シェイクアウト訓練
- 10日(木) ⑤⑥1年防災福祉体験
- 14日(月)～18日(金) ALT
- 15日(火) 3年遠足
- 17日(木) 2年校外学習(南知多グリーンバレー)
- 24日(木) ⑥生徒会役員選挙
- 24日(木)～テスト週間



<7月30日 部活動引継ぎ式>

例年、郡大会前に部活動壮行会を行っていましたが、今年は引継ぎ式として6時間目に体育館で行いました。今年が郡大会をはじめとする大会が全て中止になってしまい、3年生が部活動で叶えられなかった目標や思いを後輩たちに託しました。



バレー部



合唱部



サッカー部

<8月7日 1学期終業式>

校長式辞では、「部活動引継ぎ式で、ある生徒が話をした『日々の生活や練習をより大切にしたいと思うようになった』という言葉を紹介し、こういう考え方こそ『コロナに負けない』ということだと思います」という話をしました。その後、1年石田治喜くん、2年久村大地くん、3年神谷百音さんが、



校長式辞



生徒代表のこたばの代表者

生徒代表として、1学期を振り返りや2学期への抱負を発表しました。

<8月21日 2学期始業式>

校長式辞では、校訓の「自立・探究・礼儀」と、将棋の2冠を達成した藤井聡太さんが大切にしている言葉「探究」を重ね、実りある2学期にしていきたいと思いますという話がありました。その後、生徒会長から2学期に予定している野中祭への意気込みについての発表がありました。



校長式辞



生徒会長のこたば

<8月22日 除草ボランティア作業>

本年度は、除草ボランティアという形をとり、60名ほどの保護者と先生で実施しました。草刈り機の方は、8:00から行っていただき、他の方は9:00からで主に刈った草を集めて軽トラに乗せたり、運んだりしていただきました。日頃なかなかできないところの草を刈っていただき、きれいになりました。暑い中、作業をしていただき、ありがとうございました。



草刈り機による除草



刈った草を集める



軽トラで草を運ぶ

<部活動いろいろ>

部活動引継ぎ式後に各部活でいろいろな写真を撮影しました。



剣道部



ソフトテニス部



野球部



ハンド部



卓球部



創作園芸部